

Welcome to our library!

(錦綾図書館 へようこそ 8月)



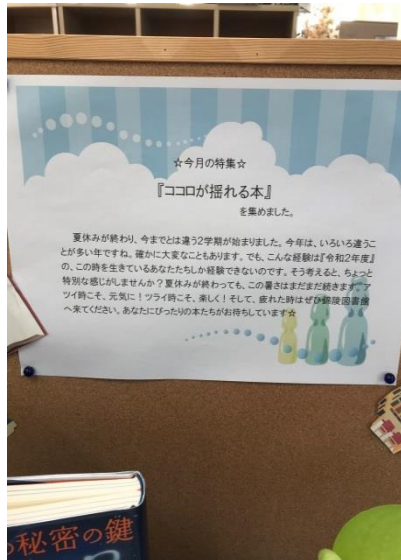
お盆が過ぎ、暑い夏もあと少し。虫の声や空の高さが、心なしか変化しているように感じる今日この頃。みなさん、いかがお過ごしですか？

今月号では、夏季休業前に行われた1学年の家庭科の授業風景を紹介します。この授業では栄養素について学びました。その際、錦綾図書館の本と公共図書館の本を使った調べ学習を行いました。

1 学年による調べ学習



今月の図書館展示



ちょっと、よりみち



夏の旬の花：ヒマワリ（花言葉 憧れ、崇拜）

夏を代表する花は、やはりヒマワリでしょうか。大きな花を大空へさかせています。このひまわり、漢字で書くと向日葵と書きますが、日車、日向とも書くようです。中国語では太陽花と書きます。ヒマワリは、太陽に向かって成長するのでぴったりの名前ですね！

ちなみに、ヒマワリはコロンブスによってヨーロッパに紹介されたようで、当時は花の形から「インディアンの太陽」「ペルーの黄金の花」と呼ばれていました。インカではこの花を太陽神のシンボルとして見なして崇めていたそうです。

今年は三国中学校の周辺にも、たくさんのヒマワリがさいっていました。どのヒマワリもいきいきと輝いて、元気いっぱいでした。大切に育てられたのだと思います。次に会える時までしばらくお別れですが、今から来年の夏が待ち遠しいです！

出典 根本浩/著, 小林絵里子/絵

はじめてふれる 日本の二十四節気・七十二候 三、秋 菊花開く；株式会社 汐文社, 2013, 12p.

フルール・フルール/編者

花言葉・花事典-知る飾る贈る；株式会社池田書店, 2009, 95p.